



夏のフルーツミックス

園生活に慣れ、安心して担当保育者と過ごしている子ども達です。
戸外から帰ったら着替える、食事の前にトイレに行くなど、見通しをもって生活し自分のことを自分でしようとする姿が見られるようになってきました。



～ 今月のねらい ～

- さくらんぼ組** ・水遊びを楽しむ。(遊び)
・沐浴で身体を清潔にして気持ちよいと感じる(生活)
- いちご組** ・水に触れ感触を楽しむ(遊び)
・パンツの脱ぎ方を知り自分でしようとする(生活)
- りんご組** ・夏ならではの遊びを楽しむ(遊び)
・自分で衣服を脱ぎ着しようとする(生活)

～自分でしようとする気持ち～

パンツはどこかな？



自分で着替えるよ♪



さくらんぼぐみ 「おしっこでたね」「汚れたから着替えようね」と今からすることを言葉にし、保育者と一緒することで、見通しをもって行動できるようになってきています。自分でロッカーにパンツを探しに行ったり、自分のマークを見つけてお着換えマットを出したり片付けたりする姿もみられます。言葉をかけた後は、「待つ」事も大事です。「自分でしたい」「やってみよう」とする意欲を大切にしています。

りんごぐみ 「ボタンする～」「自分で着る～」と色々なことに挑戦しやってみてほしいという気持ちがどんどん育ってきています。食事の後「汚れていないから大丈夫！」と自分で確かめたり、「今日はどの服にしようかな？」と好きな服を選んだり、そんな子ども達の気持ちを尊重しています。また、「やってみよう！」とする気持ちを大切にしながら、意欲を育てる言葉かけをしています。

あっ、手が出た！



ぎゅっと
引っ張って…

自我の芽生え

「オムツ替えるのイヤイヤ！」「服着替えるのイヤイヤ！」
大人を困らせたくて言っているのではありません。
「もう少し遊びたいよ～」 「今は、トイレ行きたくないよ～」と自分の気持ちを表現しているだけです
「イヤイヤ期」は、自分なりの自己主張の仕方を学んでいく重要な時期です。
子どもの「イヤイヤ」に悩んでいませんか？ ちょっと気持ちを落ち着かせ、子どもが何を望んでいるのか問いかけてみては、どうでしょうか？
「もう1回～したら着替えようね」「着替えたら〇〇しようか」と次に見通しが持てる言葉をかけ、少し待つことが大切です。

いちごぐみ 「お外へ行くよ」と声をかけると、ロッカーから帽子と靴下を出して、一生懸命外へ行く準備をしようとしています。まだ上手くできなくても「自分でしてみよう」という意欲を大切にしながら、言葉をかけ過ぎたり、先回りしないよう援助しています。上手いかない時は励まし、出来た時は褒め、喜びと一緒に共感することで、子どもたちの自信につなげていくようにしています。